

# ニッポン創業経営者ファンド

愛称 **リーダーズ**

追加型投信／国内／株式



商品販売用資料  
2022年1月

お申込みの際は必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

このファンドは、主に国内の株式等を投資対象としています。このファンドの基準価額は、組入れた有価証券等の値動きにより変動しますので、投資元本は保証されているものではありません。

お申込み・投資信託説明書(交付目論見書)のご請求は

## 岡三証券

商号等：岡三証券株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第53号  
加入協会：日本証券業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会  
一般社団法人金融先物取引業協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会  
一般社団法人日本暗号資産取引業協会

設定・運用は

## 岡三アセットマネジメント

商号等：岡三アセットマネジメント株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第370号  
加入協会：一般社団法人投資信託協会  
一般社団法人日本投資顧問業協会

# ファンドの特色

1

創業者が経営の中心を担っている日本の企業の株式へ投資を行います。

創業経営者企業とは、自ら事業を起こした創業者が現在も経営を担っている企業のことを指しますが、当ファンドでは、これに加えて以下の2つのケースに当てはまる企業についても、実質的に創業経営者企業と考え、投資候補銘柄に加えます。

**ケース1** 現行法人の登記上の創業者は、事業の買収・再編、設立経緯などの理由により別の人物であるが、企業の現在の状態などから判断して、現在の経営者が実質的には創業者であると考えられる場合。

**ケース2** 厳密には現行法人の創業者ではないが、現在の経営者が事業内容やビジネスモデルの変革を行った結果、実質的には現在のビジネスの創業者と見て差し支えないと考えられる場合。

※創業者が引退している企業や創業者家系による同族経営企業等は投資候補銘柄に含まれません。



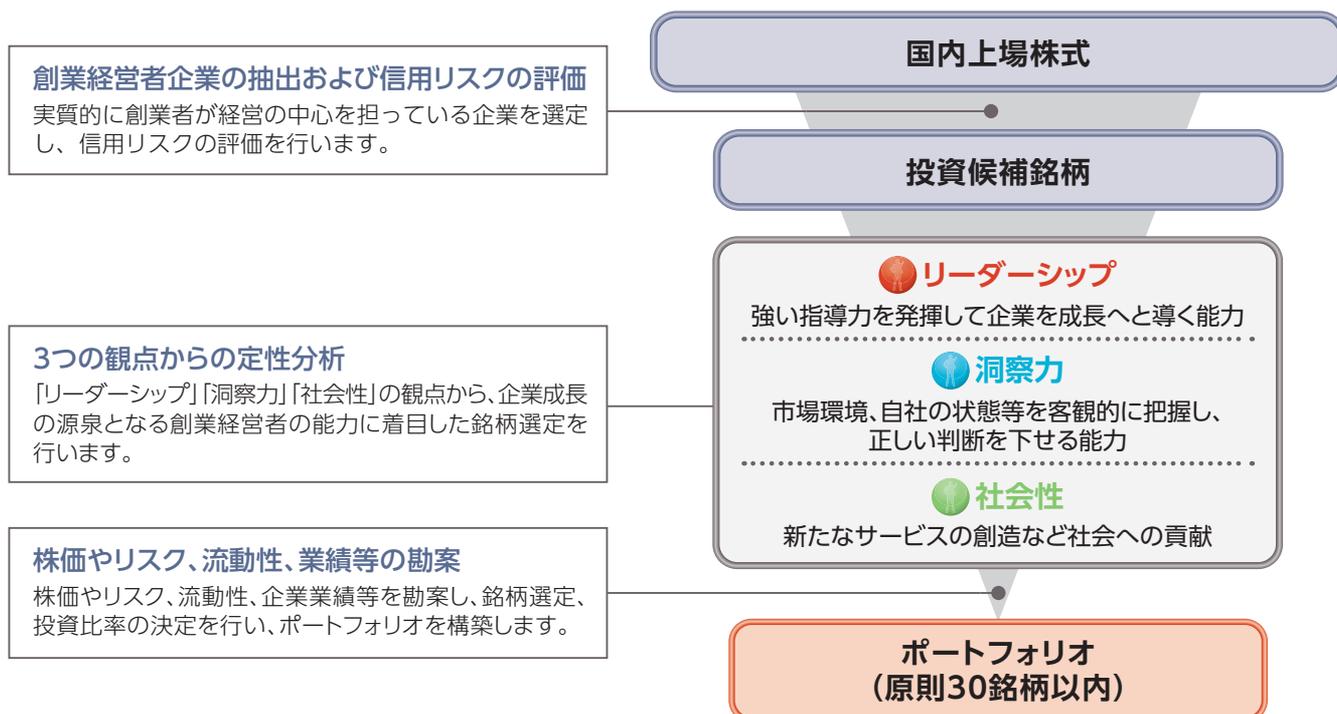
2

「リーダーシップ」「洞察力」「社会性」の観点から、企業成長の源泉となる創業経営者の能力に着目した銘柄選定を行います。

3

投資銘柄数は原則30銘柄以内とし、中長期的な視点から厳選投資を行います。

## ポートフォリオ構築プロセス



\*新興市場の株式の組入比率が高まる場合があります。

※ポートフォリオ構築プロセスは変更になる場合があります。

資金動向、市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。

# 創業経営者企業の魅力

## 創業経営者企業の優位性

自ら事業を起こした創業者が現在も経営を担っている創業経営者企業には、低成長が続く日本経済の中でも独自の成長を遂げる企業が数多くあります。

### ●創業経営者企業の特徴

1 創業者が社業に精通しており、成長に対して意欲的

2 迅速・柔軟な経営判断

3 長期的視点での経営

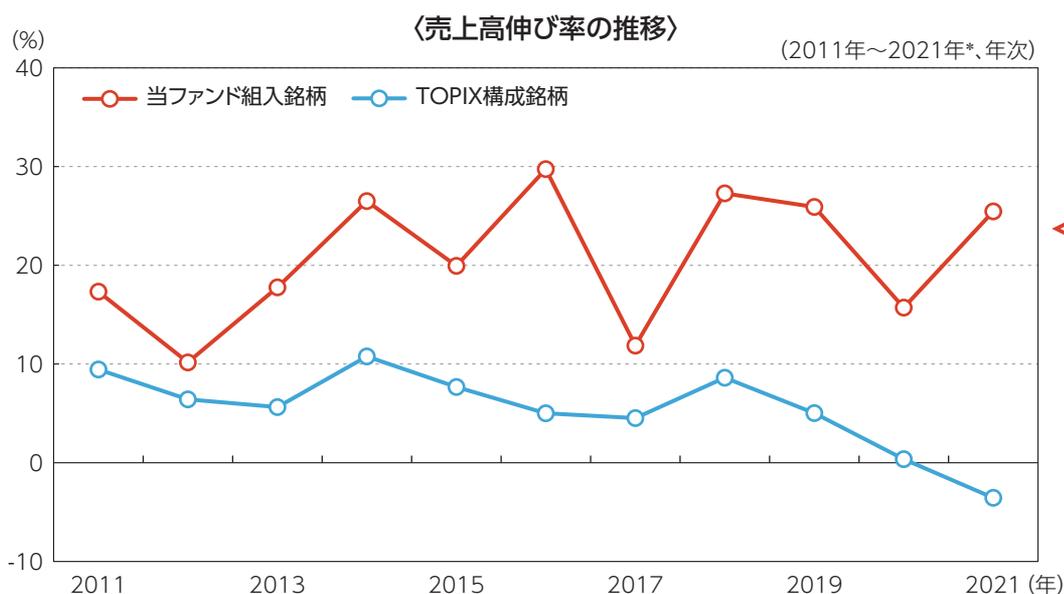
4 創業者自身も主要株主

「ニッポン創業経営者ファンド」は魅力的なリーダーズ企業に厳選投資します

※上記は当社が考える創業経営者企業の一般的な特徴等について記載したものであり、全てを表したものおよび全ての企業に該当するものではありません。

## 強いリーダーシップがけん引する成長力

### 【当ファンド組入銘柄とTOPIX(東証株価指数)構成銘柄の比較】



TOPIXを大きく上回る売上高伸び率

※2021年11月末時点の当ファンド組入銘柄とTOPIX構成銘柄(当ファンド組入銘柄は除きます。)の本決算(連結)における売上高伸び率(前年比)の平均値  
※上記「当ファンド組入銘柄」については、2021年11月末時点の組入銘柄を対象に2011年からのデータを取得しています。過去の実際の組入銘柄とは異なります。  
\*2021年は11月末時点。

(出所)QUICK

市場環境等についての評価、分析等は、将来の運用成果を保証するものではありません。

## 株式市場で評価される創業経営者企業

### 【創業経営者企業の株価パフォーマンス\*分析(10年間)】



創業経営者企業の6割弱が、TOPIXを上回るパフォーマンス



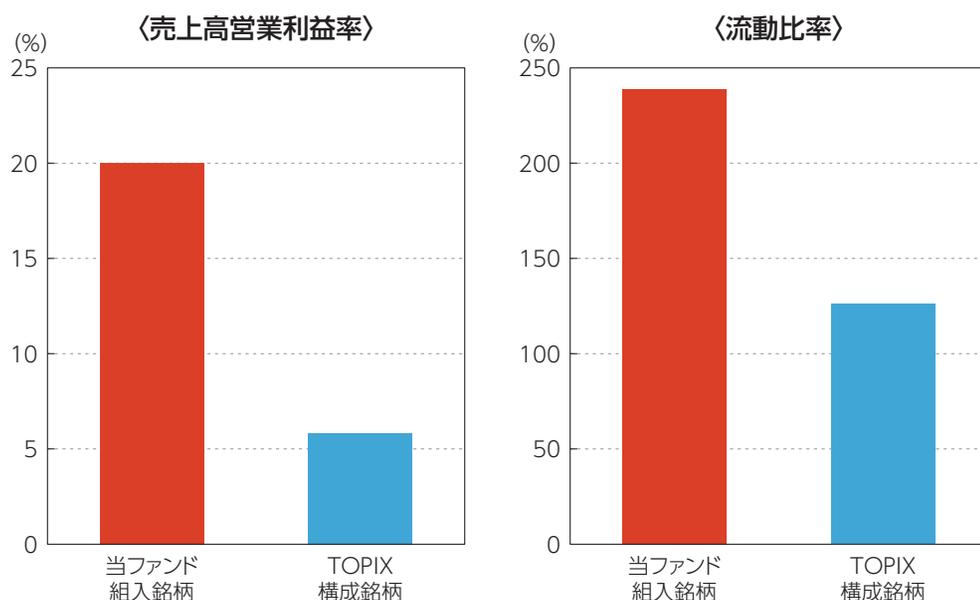
創業者が代表者である企業のうち、2021年8月末時点で東証一部に上場する198社を対象に、2011年11月末時点と2021年11月末時点の株価を比較して騰落率を計算したもの。  
 株価は配当および分割などを考慮したものを使用。

\*パフォーマンスとは騰落率を指します。

(出所)各種データおよびBloombergのデータを基に岡三アセットマネジメント作成

## 「稼ぐ力」と「守る力」を兼ね備えるリーダーズ企業

### 【当ファンド組入銘柄とTOPIX(東証株価指数)構成銘柄の比較】



優位性をもたらす収益性の高さと、財務の安全性

\*2021年11月末時点の当ファンド組入銘柄の直近決算実績の平均値と、TOPIX構成銘柄の2020年末実績値  
 \*売上高営業利益率は「営業利益÷売上高×100」(%)、流動比率は「流動資産÷流動負債×100」(%)

(出所)Bloombergのデータを基に岡三アセットマネジメント作成

市場環境等についての評価、分析等は、将来の運用成果を保証するものではありません。

# 投資リスク

## 基準価額の変動要因

投資者の皆様は投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。

投資信託は預貯金と異なります。投資信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者の皆様へ帰属します。

ファンドは、国内の株式等値動きのある有価証券等に投資しますので、組入れた有価証券等の価格の下落等の影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。

## ■主な変動要因

銘柄集中リスク	ファンドは、少数の個別銘柄への集中投資を行います。また、ポートフォリオの構築に際しては、株式市場全体の平均的な業種構成比や規模の分布、市場における物色動向などは考慮しません。そのため、市場全体の動きと、ファンドの基準価額の動きが大きく異なることがあります。 例えば、株式市場全体が上昇している場合でも、ファンドの組入株式は株式市場全体の業種や銘柄構成と大きく異なるため、基準価額が下落する可能性があります。 また、集中投資を行った投資銘柄において経営破綻や経営・財務状況の悪化などが生じた場合には、大きな損失が発生することがあります。
株価変動リスク	株式の価格は、発行会社の業績や財務状況、株式市場の需給、政治・経済状況等の影響により変動します。
流動性リスク	有価証券等の時価総額が小さく、または取引量が少ないとき、市況の急変、取引所の閉鎖等により、有価証券等の売買価格が通常よりも著しく不利な価格となる可能性があります。
信用リスク	有価証券等の発行体の破綻や財務状況の悪化、および有価証券等の発行体の財務状況に関する外部評価の変化等の影響により、投資した有価証券等の価格が大きく下落することや、投資資金が回収不能となる可能性があります。

※「基準価額の変動要因」は、上記のリスクに限定されるものではありません。

## 留意事項

- ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリングオフ）の適用はありません。
- 投資信託は預金商品や保険商品ではなく、預金保険、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関が取り扱う投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。
- ファンドは、大量の解約が発生し短期間で解約資金を手当てする必要が生じた場合や主たる取引市場において市場環境が急変した場合等に、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待できる価格で取引できないリスク、取引量が限られてしまうリスクがあります。これにより、基準価額にマイナスの影響を及ぼす可能性や、換金申込みの受付が中止となる可能性、換金代金の支払が遅延する可能性があります。
- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合があるため、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。また、投資者の購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり率が小さかった場合も同様です。
- 取引所における取引の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金申込みの受付を中止することや、すでに受付けた購入・換金申込みの受付を取消すことがあります。

## お申込みメモ

購入時	<b>購入単位</b> 販売会社が定める単位 ◆詳しくは販売会社にご確認ください。
	<b>購入価額</b> 購入申込受付日の基準価額
換金時	<b>換金単位</b> 販売会社が定める単位 ◆詳しくは販売会社にご確認ください。
	<b>換金価額</b> 換金申込受付日の基準価額
	<b>換金代金</b> 換金申込受付日から起算して、原則として5営業日目から販売会社を通じてお支払いします。
その他	<b>信託期間</b> 2027年10月27日まで(2017年10月31日設定) ◆受益権口数が5億口を下回ることとなった場合、やむを得ない事情が発生した場合等には繰上償還となることがあります。
	<b>決算日</b> 毎年10月27日(休業日の場合は翌営業日)
	<b>収益分配</b> 年1回、収益分配方針に基づいて収益の分配を行います。 ◆将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。
	<b>課税関係</b> 課税上は株式投資信託として取り扱われます。 公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度、未成年者少額投資非課税制度の適用対象です。 原則として、配当控除の適用が可能です。 税金の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

## お客様にご負担いただく費用

### お客様が直接的に負担する費用

購入時	<b>購入時手数料</b> <b>購入金額(購入価額×購入口数)×上限3.3%(税抜3.0%)</b> ◆詳しくは販売会社にご確認ください。 ◇ファンドの商品説明および販売事務手続き等の対価として販売会社に支払われます。
	<b>換金手数料</b> ありません。
換金時	<b>信託財産留保額</b> ありません。

### お客様が信託財産で間接的に負担する費用

保有期間中	<b>運用管理費用(信託報酬)</b> <b>純資産総額×年率1.584%(税抜1.44%)</b>
	委託会社 年率0.70%(税抜) ◇委託した資金の運用の対価です。
	販売会社 年率0.70%(税抜) ◇運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価です。
	受託会社 年率0.04%(税抜) ◇運用財産の管理、委託会社からの指図の実行の対価です。
	<b>その他費用・手数料</b> 監査費用：純資産総額×年率0.011%(税抜0.01%) 有価証券等の売買に係る売買委託手数料、投資信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用等を投資信託財産でご負担いただきます。 (監査費用を除くその他費用・手数料は、運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことはできません。)

- お客様にご負担いただく費用につきましては、運用状況等により変動する費用があることから、事前に合計金額もしくはその上限額またはこれらの計算方法を示すことはできません。
- 詳しくは、「投資信託説明書(交付目論見書)」の「手続・手数料等」をご参照ください。

## 委託会社およびその他の関係法人

委託会社 [投資信託財産の設定、運用の指図等]  
岡三アセットマネジメント株式会社

受託会社 [投資信託財産の保管・管理等]  
三井住友信託銀行株式会社

販売会社 [購入・換金の取扱い等]  
販売会社の詳細につきましては、下記の委託会社フリーダイヤルまでお問合わせいただくか、ホームページをご参照ください。

### 委託会社お問合わせ先 【岡三アセットマネジメント株式会社】



フリーダイヤル  
**0120-048-214** (営業日の9:00~17:00)



ホームページ  
<https://www.okasan-am.jp>

■本資料は、岡三アセットマネジメント株式会社が作成した販売用資料です。本資料中の図表等は、各出所先(ホームページを含む)のデータを基に岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものです。記載内容、数値、図表等は、本資料作成時点のものであり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものでもありません。本資料は当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。

■購入の申込みに当たっては、「投資信託説明書(交付目論見書)」及び「契約締結前交付書面」又は「目論見書補完書面」を十分にお読みいただき、投資判断は、お客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。

作成：岡三アセットマネジメント株式会社